

保護者様

真庭市立久世中学校
校長 丸山敬三

巨大地震発生時の学校・園の対応について

陽春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のことと存じます。平素から、本校教育に対しまして温かいご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、地震での、児童・生徒・園児の安全確保のため、久世中学校区として次のように対応いたします。ご理解とご協力のほどよろしく願いいたします。

記

真庭市内で震度5弱以上の地震が観測された場合、第1報に従って、久世中学校区内の小中学校・幼稚園は以下の基準に基づいて対応します。

時間帯	保護者・生徒・児童・園児の対応
登校前	【保護者】【生徒】 ○臨時休校・園を基本とする。 ○学校からの連絡を待つ。(ウサギメールの活用)
通学中	【生徒】 ○安全な場所に一時避難した後、学校か自宅か近い方に行く。 ①学校へ行く。→学校で「登校を確認」 ②自宅に帰る。 ③近くの避難場所あるいは安全な場所に行く。 【保護者】 ①自宅にもどった場合、 <u>可能であれば学校へ連絡する。</u> ②学校へ行った連絡があった場合、学校へ迎えに行く。 <u>下の*《久世中学校》参照</u> ③学校・自宅以外の場所に行っている場合、その場所へ行く。 <u>可能であれば学校へ安否連絡をする。</u> ※通学中、どの地点で学校へ行くか、自宅へもどるか、あるいはそれ以外の避難場所などを <u>各家庭で話し合っておいてください。</u>
学校に滞在中	【生徒】*《久世中学校》 ①校区の被害状況、通学路の安全を確認した後、下校の判断を行います。 ②大規模な被害が発生している場合は、安全確認ができるまで学校に留め置く場合もあります。また、集団下校の措置をとる場合もあります。 ③保護者への連絡は、ウサギメールを活用します。
夜間や休日等	【保護者】【生徒】 ○地域に重大な被害がある場合は、学校再開の連絡があるまで自宅待機とする。

※以上はあくまでも基本的なガイドラインです。状況により対応が異なることもあり得ます。